

木津川市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会 会議経過要旨

会 議 名		令和元年度木津川市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会	
日	時	場 所	木津川市役所 5階 全員協議会室
出 席 者	委 員	【第2号】 ■真山 達志委員(会長) ■今里 佳奈子委員(副会長) 【第3号】 □市川 浩之委員 ■畑上 拓也委員 ■中崎 鉄也委員 ■吉田 慎太郎委員 ■長尾 達也委員 ■姜 京希委員 □松尾 有基委員 ■佐脇 貞憲委員 ■西村 正子委員 ■三上 かず子委員 ■川崎 あき委員 ■浦辻 克碩委員 ■新谷 まさこ委員 ■福田 藍委員 □大倉 竹次委員 ■澤田 晋治委員	
	事 務 局	鶴見政策監、武田マチオモイ部長 奥田学研企画課長、松下学研企画課長補佐、比志島学研企画課企画政策係長	
議 題	1. 開会 2. 会長・副会長の選出 3. 議事 平成30年度創生事業の効果検証 ①地方創生推進交付金 ②ふるさと応援補助金 4. 報告 令和元年度の取組み事業について ①地方創生推進交付金 ②ふるさと応援補助金 5. その他 第2期木津川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について 6. 閉会		

<p>会議結果 要 旨</p>	<p>1. 開会 事務局から開会を宣言した。</p> <p>2. 会長・副会長の選出 事務局一任により、会長に真山達志委員、副会長に今里 佳奈子委員を指名し、出席委員全員の承認を得た。</p> <p>3. 議事 会議録の署名委員として畑上委員を指名した。</p> <p>平成30年度創生事業の効果検証</p> <p>①地方創生推進交付金 「資料1 地方創生推進交付金事業実績」に基づき、事務局から説明があり、承認した。</p> <p>②ふるさと応援事業補助金 「資料2 木津川市ふるさと応援事業補助金事業実績」に基づき、事務局から説明があり、承認した。</p> <p>4. 報告 令和元年度の取組み事業について</p> <p>①地方創生推進交付金 「資料3 平成31年度地方創生推進交付金申請取組み事業」に基づき、事務局から説明があり、確認した。</p> <p>②ふるさと応援補助金 「資料4 令和元年度ふるさと応援事業補助金採択事業一覧」に基づき、事務局から説明があり、確認した。</p> <p>5. その他 第2期木津川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について</p> <p>6. 閉会</p>
---------------------	--

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">会議経過 要旨</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">◎会長 ○委員 →事務局</p>	<p>1. 開会 会議結果要旨のとおり。</p> <p>2. 会長・副会長の選出 会議結果要旨のとおり。</p> <p>3. 議事 平成30年度創生事業の効果検証 ①地方創生推進交付金 ②ふるさと応援事業補助金</p> <p>【主な意見・質疑等】 ○市は、ふるさと応援事業補助金が3年間交付された後の団体への支援は行っているのか。 →団体が実施する事業の広報誌への掲載や、使用する施設の使用料減免等の支援を行っている。また、団体間の意見交換会を実施しており、マッチングの場にもなっている。</p> <p>○ふるさと応援事業補助金は3年間補助を受けて、その後は「自立」できるような団体を作るのが主旨のはずである、補助金がなければ活動が継続できないという団体があるのは問題である。</p> <p>◎それぞれの団体の活動事業を個別に検証していくことが必要かと思う。木津川市には「自立」できた好事例もあり、「自立」が困難となっている団体との比較も行いやすい。団体ごとに取り組んでいる事業が異なることから、一律に「補助金」は無くして「自立」するべきだと言えるものばかりではないが、「補助金」があるから続けるといったような事業では問題がある。また「自立」とは全てにおいて「自立」することばかりを指すのではなく行政の支援を得ながらの「自立」もあり、それぞれの役割分担を検証することも大切である。</p> <p>○平成30年度が3年間のふるさと応援事業補助金の最終年度となった9団体のうち、どのくらいの団体が「自立」できているのか。 →9団体のうち1団体は事業内容を見直して実施するべく議論中であるが、その他の8団体は継続していただいている。</p> <p>○木津川市まち・ひと・しごと創生「総合戦略」平成30年度取組み事業実施結果のなかで、K P I（主な重要業績評価指標）が示されているが、「首都圏での市内農産物流通量」「農産物直売所件数」というのはどうい</p>
--	--

	<p>のか。</p> <p>→「首都圏での市内農産物流通量」はＪＡ京都やましろが把握している首都圏への農産物流通量にて評価している、また、「農産物直売所件数」は市内の農産物を直売される場所でかつ生産者が同席しているところを「直売所」として評価している。</p> <p>４． 報告</p> <p>令和元年度 of 取組み事業について</p> <p>①地方創生推進交付金</p> <p>②ふるさと応援事業補助金</p> <p>【主な意見・質疑等】</p> <p>◎ふるさと応援事業補助金事業は終了となるが、事業終了後も各団体が「自立」「継続」できるよう知恵を絞っていくこと、行政がしっかり支援していくことが大切である。</p> <p>５． その他</p> <p>第２期木津川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について</p> <p>６． 閉会</p>
--	---